

《最近の県内経済》 (2024年11月を中心として)

今月の概要

緩やかに持ち直している。



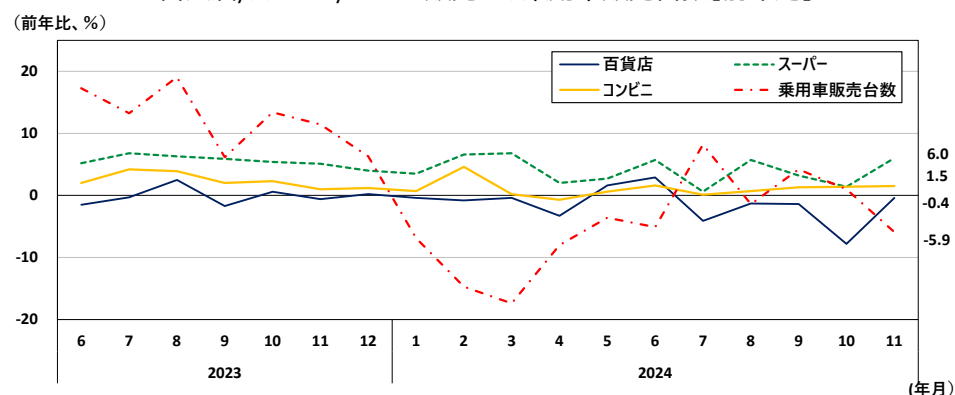
前月比

1 個人消費 ～緩やかに持ち直している



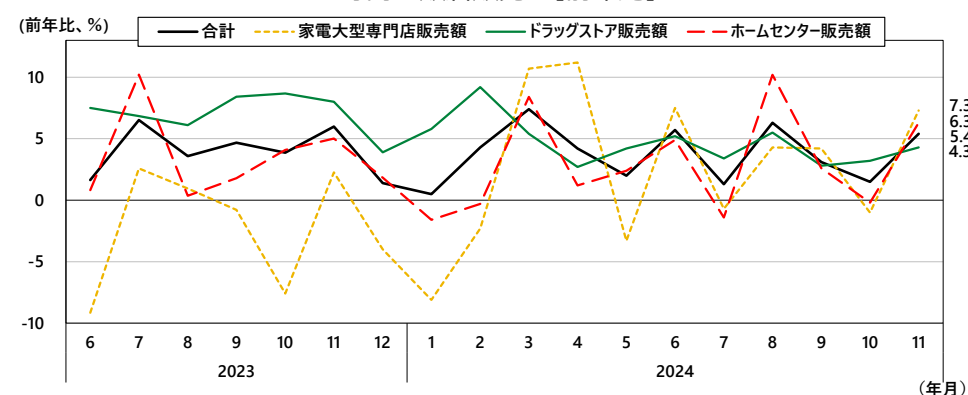
前月比

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

11月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店は143億円で前年比0.4%減（5か月連続の減少）、スーパーは1,089億円で同6.0%増（26か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は558億円で同1.5%増（7か月連続の増加）となった。中旬以降の気温の低下に伴い、冬物商材などが好調だった。

また、乗用車販売は、前年比5.9%減と3か月ぶりの減少となった。内訳をみると、普通車が同0.5%増（5か月連続の増加）となったものの、小型車が同12.8%減（3か月ぶりの減少）、軽自動車と同9.9%減（4か月連続の減少）とそれぞれ減少した。

11月の専門量販店販売額は、798億円で前年比5.4%増と27か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が178億円で同7.3%増（2か月ぶりの増加）、ドラッグストアが431億円で同4.3%増（30か月連続の増加）、ホームセンターが190億円で同6.3%増（2か月ぶりの増加）となった。

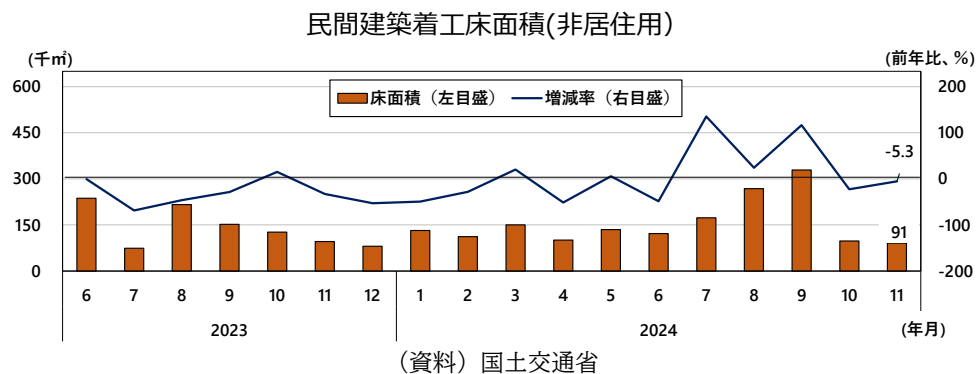
季節家電や大型家電商品の買い替え需要が売上に寄与した。ドラッグストアでは、調剤医薬品、ビューティケア関連が前年比2桁の伸びとなった。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、10月〈36.9〉、11月〈36.5〉、12月〈36.8〉と推移している。

2 設備投資～持ち直している



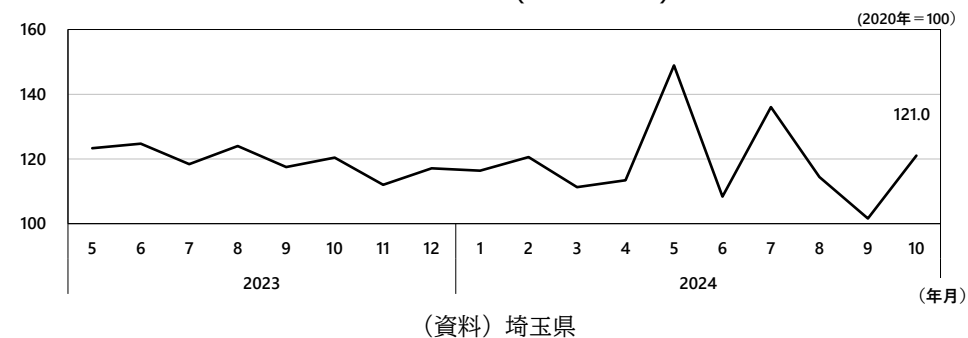
前月比



11月の民間建築着工床面積（非居住用）は、91千㎡で前年比5.3%減と2か月連続の減少となった（5か月後方移動平均では、前年比44.0%増加）。

用途別にみると、事務所、工場及び作業場、倉庫は増加したものの、店舗、学校の校舎、病院・診療所はいずれも減少した。

資本財出荷指数(季節調整済)



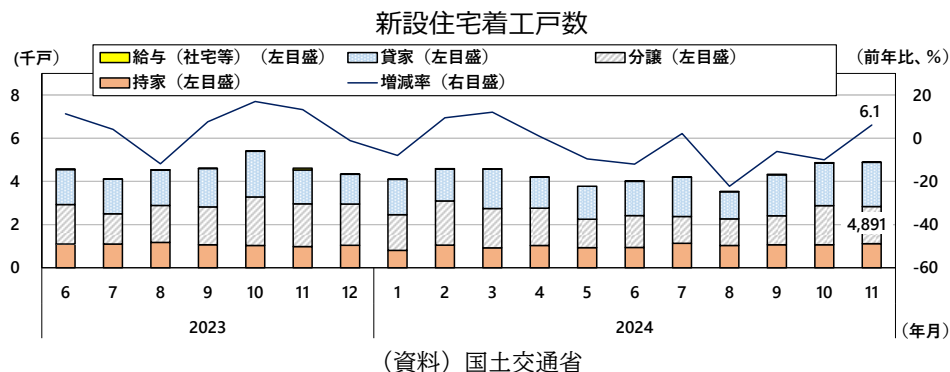
10月の資本財出荷指数（季節調整済）は121.0で、前月比19.1%増と3か月ぶりの増加となった（5か月後方移動平均は、前年比5.6%減少）。

当研究所が2024年8月に実施した「設備投資動向調査」では、企業の設備投資計画額は、前年比増加している（全産業前年比+25.3%）。

3 住宅建設～弱含んでいる



前月比

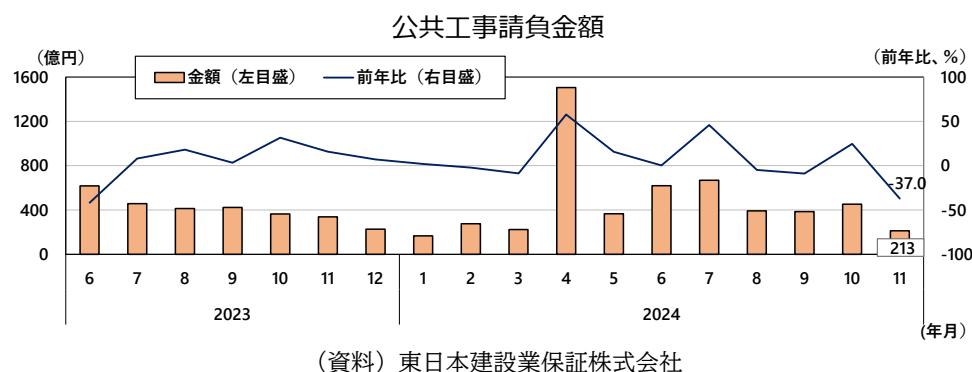


11月の新設住宅着工戸数は、4,891戸で前年比6.1%増と4か月ぶりの増加となった（5か月後方移動平均では6.3%減）。利用関係別にみると、分譲一戸建て（1,045戸）が前年比22.6%減となったものの、持家（1,118戸）が同13.5%増、貸家（2,051戸）は同30.5%増、分譲マンション（645戸）は同3.4%増となった。

4 公共工事～底堅く推移している



前月比

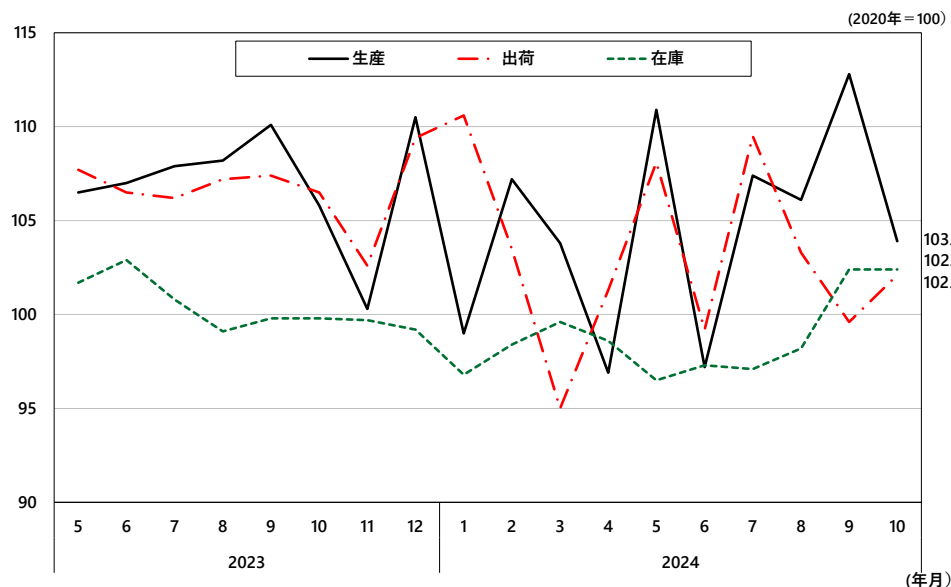


11月の公共工事請負額は213億円、前年比37.0%減となった（2か月ぶりの減少）。5か月後方移動平均では前年比5.8%増で推移。発注者別の前年比をみると、都道府県は増加したものの、国、独立行政法人等、市区町村、地方公社は減少した。

5 生産活動 ～一進一退



鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



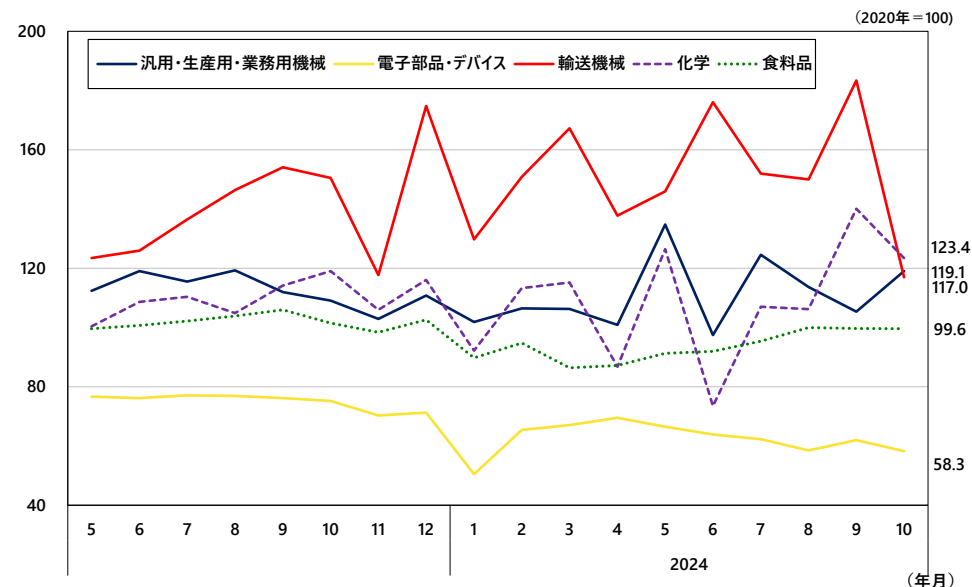
(資料) 埼玉県

10月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、103.9で前月比7.9%低下した(2か月ぶりの低下)。生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、汎用機械(空気圧機器、コンベヤ)などが上昇したが、輸送機械(航空機用部品、乗用車)、化学(医薬品)などが低下した。

出荷指数(同)は、102.1で同2.5%上昇(3か月ぶりの上昇)。輸送機械(航空機用部品、自動車エンジン)、業務用機械(精密測定機)などが低下したが、生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)、情報通信機械(ガス警報器、交換機)などが上昇した。

在庫指数(同)は、102.4で同横ばいとなった。非鉄金属(伸銅製品、アルミニウム二次合金地金)、パルプ・紙・紙加工品(衛生用紙、段ボール原紙)などが低下したが、情報通信機械(金銭登録機(端末機能付)、ガス警報器)、輸送機械(乗用車、完成自転車)などが上昇した。

主要業種の生産指数(季節調整済)



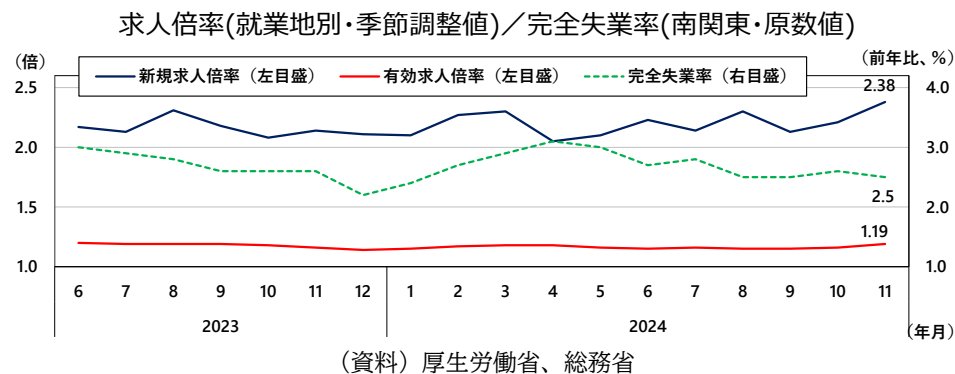
(資料) 埼玉県

- ◆ 汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、119.1で前月比12.9%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、58.3で同6.0%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、117.0で同36.2%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 化学(同)は、123.4で同11.9%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 食料品(同)は、99.6で同0.1%低下し、2か月連続の低下となった。

6 雇用情勢 ～緩やかに持ち直している



前月比

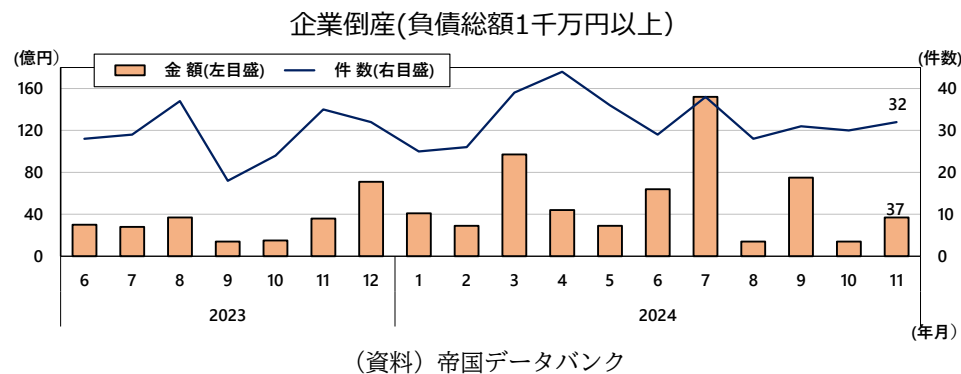


11月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.19倍で前月比0.03ポイント上昇(2か月連続の上昇)した。新規求人倍率(同)は、2.38倍で同比0.17ポイント上昇(2か月連続の上昇)となった。
また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.5%で前年同月比0.1ポイント低下した(前年同月比2か月ぶりの低下)。

7 企業倒産 ～緩やかに増加傾向にある



前月比

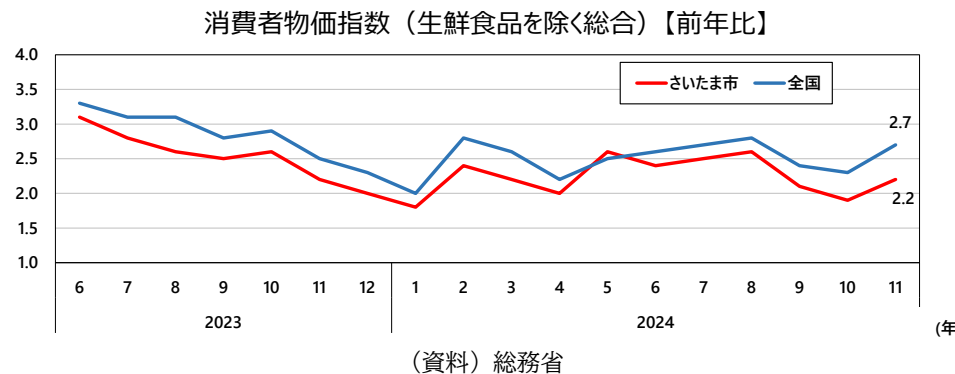


11月の企業倒産件数は32件で前年同月比3件の減少となった。また、負債総額は37億円で同1億円の増加となった(5か月移動平均では、件数は前年比3件の増加、負債総額は同32億円の増加)。
業種別にみると、サービス業が最多で10件、次いで建設業が8件、製造業が5件となっている。主因別では、販売不振が27件となっている。

8 消費者物価 ～上昇率が高止まりしている

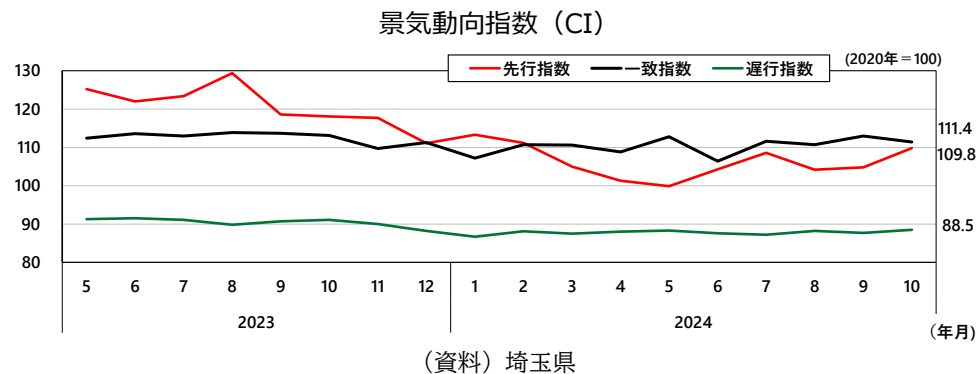


前月比



11月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、108.0で前年同月比2.2%上昇した(38か月連続の前年同月比上昇)。
食料(穀類(うるち米など))、教養娯楽(旅行費など)、光熱・水道(電気代など)などが上昇し、全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI) ～下げ止まりを示している



- 10月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、111.4で同1.6ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、109.8で同5.0ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、88.5で同0.8ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。